

「図書のまち阿南」構想（令和8年3月公表）について

本構想では、阿南中央図書館（仮称）を核として、阿南市全域において、市民がいつでも誰でも気軽に集い、図書に親しみ学びあえる、まちづくりを目指しています。

那賀川・羽ノ浦図書館の新たなあり方について

市民の皆様の意見や要望を可能な限り反映するとともに、本構想の推進に必要な財源の確保を並び立つものにするを基本スタンスとして検討を行います。

- ①残す機能・・・意見募集で「残してほしい」と意見が多かった「貸出機能」「司書（レファレンス機能）の配置」「読み聞かせ活動」等に関しては、可能な限り機能を存続できるよう検討する。
- ②見直す機能・・・図書館の資源である蔵書の一部を新図書館に移管することで生じる書架スペースの空間を見直し、有効活用することで「自習スペース」等の利便性向上を図る。
- ③新たに導入する機能・・・市民の皆様からの意見や要望を反映するとともに、より多くの市民が利用できる施設とするため、読書機能等と連携できる機能の導入を検討する。

※蔵書の考え方：新図書館の蔵書を両館において展示し、貸出・返却可能とする。（3,000冊から5,000冊を想定）
：那賀川・羽ノ浦図書館が所蔵する本については、新図書館に移管する本とそれ以外の本に分別し、移管対象外の本についても有効活用を検討します。

※運営体制：司書の配置を想定（市による直営、指定管理、民間委託など運営手法を検討）

蔵書の考え方、運営体制とも、新図書館の「サービス計画」を取りまとめたうえで、更に検討する必要があると考えています。

「読書テラス」ネットワークの構築

小中学校や公民館、科学センター等の多様な施設との連携を強化しつつ、公共施設の「読書テラス」だけでなく、市民協働の「読書テラス」の設置に向けた取り組みを目指すことで、市内全域において様々なスタイルの「読書テラス」づくりを行っていきます。

令和8年度 実施計画

科学センターに「読書テラス」を設置（7月19日(日)オープン）

愛称募集（8月末まで：科学センター及び平惣阿南センター店内にて）

見能林公民館及び新野公民館内に「読書テラス」を設置（年度内）

※施設の利用者ニーズに合わせた選書・資料収集

※利用される工夫（POPづくり、リスト作成など）

※地元書店との連携（選書・周知・POPづくりなど）